



情報技術科



R6 年度 1 学期資格・検定結果速報

1. 文章入力スピード認定試験 日本語（日本情報処理検定協会主催）

内容：認定試験用アプリを使用して、制限時間内（10 分間）に入力した文字数により級を認定する。

1 年生全員受験：78 名

級	合格人数	合格条件
1 級	1 名	1,000 文字 以上
準 1 級	1 名	800 文字 以上
2 級	7 名	600 文字 以上
準 2 級	8 名	450 文字 以上
3 級	23 名	300 文字 以上
4 級	26 名	250 文字 以上
5 級	12 名	100 文字 以上



2. プレゼンテーション作成検定試験（日本情報処理検定協会主催）

内容：パソコンのプレゼンテーションソフトの有効な利用を通じて、プレゼンテーション資料作成能力を身につけるとともに、情報化社会の中でコンピュータ活用能力の向上を図ることを目的として実施する。

2 年生全員受験：53 名（合格率 91%）

級	合格人数	合格率
1 級	3 名	100%
2 級	37 名	88%
3 級	13 名	100%

※1 級合格者の感想： 中学生の頃からパワーポイントをやってきて、実力を確かめる意味で 1 級に挑戦しました。試験内容も難しかったですが、結果を聞いて安心しました。すごく達成感があります。

2 年 伊志嶺ジャスティン麦太郎（古蔵中出身）

3. 情報処理技能検定試験 表計算（日本情報処理検定協会主催）

内容：入力したデータを基に表を作成し、さらに処理条件に従ってグラフなどを作成する技能を問う試験。

2 年生希望者のみ受験：合格率 91%

級	合格人数	合格率
2 級	1 名	100%
3 級	1 名	100%

4. IT パスポート（独立行政法人・情報処理推進機構（IPA））

内容：IT を利用する社会人や学生が知識を持っていると証明できる国家資格である。

2・3 年生希望者 5 名中 3 名が合格

級	合格人数	合格率
IT パスポート	3 名	60%

※合格者の感想：とても難しい資格ではありましたが、難しい公式、証明があるわけではなく、覚える事が単純に多いです。情報分野の基礎を知れる、取って意味のある資格であると私は考えています。努力は身を結ぶ。

3 年 伊波秀哉（仲西中出身）

難関